

横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業

環境影響評価方法書についての意見の概要

平成 29 年 12 月

国土交通省関東地方整備局

横 浜 市

横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業 環境影響評価方法書についての意見の概要

1. 意見募集の概要

- ・ 公告日 : 平成 29 年 10 月 20 日 (金)
- ・ 縦覧期間 : 平成 29 年 10 月 20 日 (金) から平成 29 年 11 月 20 日 (月)
- ・ 縦覧場所 : 国土交通省関東地方整備局情報公開室
国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所閲覧室
横浜市港湾局政策調整部政策調整課
- ・ 縦覧期間 : 平成 29 年 10 月 20 日 (金) から平成 29 年 12 月 4 日 (月)
- ・ 縦覧場所 : 横浜市環境創造局政策調整部環境影響評価課
横浜市鶴見区役所総務部区政推進課
横浜市中区役所総務部区政推進課
神奈川県環境農政局環境部環境計画課
神奈川県県民局くらし県民部情報公開公聴課横浜駐在事務所
神奈川県県民局くらし県民部情報公開公聴課川崎駐在事務所
神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部
神奈川県県央地域県政総合センター環境部
神奈川県湘南地域県政総合センター環境部
神奈川県県西地域県政総合センター環境部
- ・ 意見募集期間 : 平成 29 年 10 月 20 日 (金) から平成 29 年 12 月 4 日 (月)
- ・ 意見提出先 : 国土交通省関東地方整備局総務部港湾空港総室
国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所総務課
横浜市港湾局政策調整部政策調整課
- ・ 意見書提出件数 : 9 件
- ・ 意見書の内訳 : 以下のとおり

項目	件数	意見の概要番号
1. 事業計画	2	1、2
2. 地域概況	4	3、4、5、6
3. 調査、予測・評価全般	0	
4. 大気質	0	
5. 騒音	0	
6. 振動	0	
7. 水質	0	
8. 水底の底質	0	
9. 地形及び地質	0	
10. 動物	0	
11. 植物	0	
12. 生態系	0	
13. 景観	1	7
14. 人と自然との触れ合い活動の場	1	8
15. 廃棄物等	0	
16. 温室効果ガス等	0	
17. その他	1	9

2. 意見の概要

項目	番号	意見の概要
事業計画	1	図4-5-2の潮流のシミュレーションにおいて、赤色部分は流速が速まった部分ではないのか。大黒沖に埋め立て地を作った場合、横浜港内のベイブリッジ付近に流速差が現れる結果だが、流速が速まったのなら、海水交換率が高まり、逆に横浜港内には良い影響ではないのか。
	2	図4-5-2の潮流のシミュレーションにおいて、横浜港内の流速差より、埋め立て候補地区域自体の流速差の大小の比較検討の方が、重要ではないか。
地域概況	3	表3-1-20 方向別波高出現確率は、「風」しか波高の出現に考慮されておらず、潮流や岸壁からの返し波など「風」以外の要因も加える必要がある。
	4	表3-2-4 漁業種類別漁獲量と表3-2-6 魚種別漁獲量の漁獲されている魚種が矛盾しており、データがおかしいと思います。
	5	表3-2-15 横浜港入港船舶数、表3-2-16 横浜港取り扱い貨物量、それぞれの過去20年ぐらいの経年変化が必要ではないか。
	6	図3-2-7 航行密度図から、新規ふ頭の埋め立て地は、横浜港に出入港して南へ(根岸湾側)へ航行する船舶の航路をふさぐカタチになり、横浜港へ出入港する船舶の過密化、迂回スペースの減少になり、既存の中・小型船舶が活用している航路の妨げになるのではないか。
景観	7	大黒地区、本牧地区ともに、市民が眺望点として対岸の千葉まで見渡せる施設がある貴重エリアであるが、その景観を壊さないように低減処置をしながらの埋め立ては不可能ではないか。
人と自然との触れ合い活動の場	8	人と自然が触れ合う親水エリアの検討として、大黒釣り桟橋と本牧海釣り桟橋の年間利用者数のデータが必要ではないか。
その他	9	ヒートアイランド現象に対する、新規ふ頭の埋め立ての影響はないとの回答に疑問です。20年後運用が始まれば、海面を埋め立てただけの平面積の熱収支の話だけではないはずです。